

里だより

No.385

令和6年2月1日

一発行一

菊池郡大津町平川400番地

社会福祉法人 清和会

つくしの里

TEL 096-293-1550

FAX 096-293-1579



クリスマス会

もちつき大会



行事予定・
ありがとうございます・
編集後記……………6

行事報告……………5

職員より・事務局より……………4

主任より……………3

サビ管より……………2

施設長より……………1

(ページ)

二月号もくじ



つくしの里 ホームページ

<http://www.tsukushinosato.or.jp>



施設長より

能登半島地震



今年は元旦早々、北陸で大きな地震が発生しました。被害にあわれた方々には心よりお見舞い申し上げます。

当事業所の支援課長が、施設協会の災害対策特別委員会の委員長をしていたこともあり、十二月半ばに開催された施設長会で災害対策の講演をしました。その講演を聞きながら、熊本地震から七年が経過し、災害時の備えをもう一度見直さなければならぬと心新たにした矢先の能登半島地震でした。ニュースを見て「熊本地震を思い出した」、「怖くなった」と、利用者さん・職員からも聞かれました。安易に熊本地震と照らし合わせるのはいけないと思いますが、被災地では同業者も多く被災していることと推察されます。これまでの災害で浮き彫りになったのは、災害時要援護者の存在です。介護度や障がいの特性により避難所への避難が困難な例もあらわになりました。各市町村によっては、避難行動要支援者の名簿が作成されたり、専門職による個別支援計画が作成されたりするようです。熊本地震の際、当施設では多くの職員が出勤してくれたため、被災しながらも最低限の利用者支援が行えました。出勤者がままならぬいと災害時要援護者の集団となっています。

福祉避難所に指定される施設も増えていますが、当施設のように福祉避難所自体が被災することもあります。地域のお困りの方を受け入れたい気持ちはやまやまででしたが、職員も被災者、職員の家族も被災者、利用者さんも被災者。ライフラインが寸

断され、被害も多い状態では、泣く泣く受け入れをお断りせざるを得ませんでした。

特に施設本体は給水パイプが破損し、避難所に水を受け取りに行くものの、入所・グループホーム併せて約七十人分の水を確保するのも容易ではありません。この他、食事やその提供の仕方、入浴・排泄など衛生面の問題、通院や薬の問題、帰宅できない職員、余震の恐怖等々が課題となります。平穩のありがたみを肌身で感じました。

被災地の状況は映像通信が発達した現在では、目を覆いたくなるような残酷なものまでタイムリーに届く時代となりましたが、意外と福祉施設の深刻な状況は取り上げられないように感じます。おそらく利用者の個人情報などへの配慮や混乱を防ぐためのものも多くあると思われしますが、必要などころに必要な支援・物資が届けられないようにしたいものです。まずは、デマなどに踊らされないように正確な情報を見極めて、無理をせず出来る範疇で支援することだと思えます。私たちは、熊本地震の時に大変な思いもしましたが、多くの方々の温かさに触れたのも事実です。

今度は、私たちが「恩返し」「恩送り」をする番なのではないでしょうか。

施設長 松永一博

サビ管より

魅力を伝える

福祉に携わる仕事の魅力について、どれだけ正しく、理解と納得のいく言葉や表現で人に説明ができるのか、久しぶりに考える機会がありました。

一月二十一日、熊本城ホールにてマイナビ転職フェアが開催され、再出発をしようと活力ある人材を求め参加してきました。大手企業がブースを占める中、医療、福祉関係は当法人だけの参加でしたが、福祉に関する魅力を少しでも伝えることが出来るよう、一人でも多くの来場者に席に着いてもらおうと、目を引くブースの装飾、説明に用いるツールの用意、入りやすい雰囲気づくり等、不備が無いようにするのは当然の事、より効果的な採用活動ができるよう準備段階でカバーしたつもりでした。

しかし、いざ他のブースの装飾や空間の作り方であったり、チラシ広告の作り方であったり、席に着いてもらうためのPRを目にすると、学ぶべきこと、配慮するべきことはまだまだ多いと感じました。勿論、次の機会にはその点も含めた、より万全の準備をしたいと思えます。

十一時から開始し、十六時までに十二名の方に話を聞いていただきました。出来るだけリラックスした中で話が出来るとは思っていました。これまで福祉に携わったことが無い方

ばかりでしたので、振り返ると説明したいこと、伝えたいことに必死になってしまい、求職者ご本人の気持ちや考えを引き出すことが不足していたと反省しました。今思えば、逆にこれまでやってこられたことをこちらが聞き、その経験やスキルから福祉に結び付けられることを探していく時間であっても良かったのかなと思います。

また、その人を引き込むために、この仕事についての魅力を伝えようとするわけですが、いざ言葉にしようとすると言順を上手く整理できていなかったり、詳しく話そうとすればする程わかりにくくなっていたりしたように振り返ります。伝達するためのスキルが不足していると改めて痛感できた時間でもありました。

次の機会に向け、記憶に残る言葉でわかりやすく簡潔に、更にはもっと詳しく話を聞きたいと思っただけのような伝え方が出来るようになること。魅力が伝わり、興味・関心へと変わっていくことで、次のステップに繋がりがやすくなること。個人の準備としても、しつかり整えていきたいと思えました。

この先、新たに出会い、そして共に働くことになるだろう方のことを楽しみに、自分もステップを踏んでいきたいと思えます。

支援課長 今田 有哉



主任より

成長



今年に入り禁煙を開始しました。まだ開始して一週間程しか経っていませんが、今のところ順調です。これまで何度か禁煙に挑戦してきましたが、一日もたない事も多く、「自分には不可能だろう」と思い込んでいました。しかし、今回禁煙に挑戦してみて感じたのは、思っていたほど難しいものではなかったという事でした。以前と今回とは何が違うのだろうかと考えてみました。

ここ数年は、筋トレにハマっており、毎日昼休みに職場で筋トレ、休みの日や夜勤の日は欠かさずジムに通っています。筋トレのモチベーション維持の為に目標を設定しています。以前、ニュースになっていたシンガポールの五十代の男性俳優さんを見て「このかっこいい身体になりたい」と思い、写真を携帯の待ち受けにしています。目標を設定した事で達成する為にやらなければならない事が明確に見えてきて、筋トレにも継続して取り組んでいるのだと思います。この成功体験を禁煙にも活用したのです。以前は漠然とした考えで禁煙に挑んでいましたが、これでは継続する事は難しいです。禁煙の目的・目標として、今回は煙草を止めてその浮いたお金でトレーニングジムと契約するという目的がありました。又、禁煙の目標も筋トレの目標と一緒に。このような目的・目標がしっかりしている点が禁煙を円滑に進められた要因なのだと思います。目標や目的がは

つきりせず、漠然と考えて行動しても良い結果には結びつかない事が多いと気付きました。

目標に向かってハマってやり込んでいる時は、なぜか苦痛の感覚が少なくなります。禁煙の苦痛も以前の禁煙の時と比較すると大した事はなく、これだったら続けられると感じています。しかし、まだ一週間しか経っていませんので調子に乗らずに頑張っていきたいと思います。

このように最近では以前まで難しいと感じていた事に対して「出来るかもしれない」と思うようになりました。筋トレによる肉体改造によって身体や精神に様々な効果が表れているのだと思います。特にマインドの変化は著しく、チャレンジする意欲が湧いている状況です。これからもどんどんチャレンジして自分を成長させていくと共に、今後とも目標・目的の設定を明確にして家庭や仕事に活かしていきたいと思っています。

主任支援員 平田雄一

施設 PR 委員会 今月の 1 枚！



個別活動の糸通し中です！
今日も頑張ろかねえ (´▽`)

職員より



2024年を迎え、1月2日の出勤日に施設で過ごされる利用者さんへ新年の挨拶をしましたが、頭を下げて笑顔で挨拶を返していただきました。ご自宅に帰られず残っている方も普段と違うテレビ番組、年越しそばやおせち料理、門松の設置など年末年始の雰囲気を感じて過ごされました。

今年のお正月はゆっくり過ごそうと夕方からテレビをつけていたら、地震のニュースが流れ更に翌日には飛行機事故、またその翌日は北九州での大火災のニュースと、お正月気分が一気に吹き飛びました。今までの3ヶ日は「楽しく」「のんびり」「ゆったり」でしたが、その「当たり前」が通用しない新年となりました。いつ何があるかわかりませんが、何事においても明るい話題が届けられるよう過ごしていきたいと思えます。

(支援員 北島)

私がつくしの里に入職してから、くまモンに来てもらう事が2回ありました。どちらの行事もくまモンの登場に会場が沸き、盛り上がり、利用者さんのはじける笑顔が見られ、くまモンのパワーに感心させられました。くまモンの足元にも及びませんが、人に笑顔になってもらえるような事ができたらと思えます。

さて、つくしの里の最高齢のKさんはよく笑う方です。職員に笑ったり利用者さんの声に反応したりと、笑いのツボがあり、笑いが止まらなくなるくらいです。この方を見ていると長生きの秘訣は笑う事かもしれないと思えます。年始から能登半島地震のニュースが流れ、辛い思いをしている方も沢山おられます。また病気や身体が不自由で辛い方もおられます、悩みや困りごとがある方もおられると思えますが、そんな中でも日常生活のちょっとした時間で笑ったり笑顔になったりする瞬間が少しでもあるといいなと思えます。

(支援員 松若)

事務局より



年を重ねるごとに1年があつという間に感じます。昨年はコロナウイルスの制限緩和に伴い、入職して初めてご家族を招いてのイベントに参加しました。利用者さんと職員だけのイベントも楽しく参加させていただきましたが、やはりご家族の皆様と一緒に参加することで、利用者さん含め職員もいつも以上に気合を入れて準備に取り組み、大いに盛り上がるイベントになったと思えます。ご協力いただきましたご家族の皆様には心より御礼申し上げます。

私事ですが、年始早々インフルエンザに感染してしまい、まだまだ油断できない状況だと身を持って再確認しました。今年のご家族の皆様だけでなく地域の皆様もお招きしてのイベントを開催できるよう利用者さんと一緒に体調管理に一層気を付けたいと思えます。皆様もくれぐれも体調を崩されませんようご自愛ください。

(事務員 井手)

行事報告

※ 12/21 (木) ~1/20 (土) の実施分について報告いたします

★ クリスマス会 【12月21日 (木) つくしの里】

クリスマス会1週間前までコロナウイルスが流行しており、実施できるか分からない状況でしたが、無事収束し、当日を迎える事が出来て良かったです。ただ、イベントの規模が縮小してしまい、食事会からのスタートとなりました。利用者さんが楽しめるのか、クリスマス会という雰囲気味わえるだろうか等、心配事は多々ありました。しかし、どのようにしたら利用さんが楽しめるかを第一に考え、当日の声掛けで出し物をしてくれた職員、その場を盛り上げてくれた職員と利用者さんのお陰で、とても盛り上がりました。

また、一番の楽しみであるプレゼント渡しを先にしてカラオケを後にした事で、利用者さん全員で最後まで楽しむ事が出来ました。
(支援員 木戸)

★ もちつき大会 【12月28日 (木) つくしの里】

4年ぶりにご家族・大津北小学校の児童と先生をお招きしました。久しぶりの小学生との交流ということもあり、利用者の皆様は大変喜ばれていました。

昨年度までは、新型コロナウイルス感染予防の為、いきいきグループの方には新棟ホールで餅つきをして頂いていましたが、5類移行に伴い、今年度は集会室での観覧も含め、全員が集まって中庭での餅つき大会となりました。ご家族の皆様にも来て頂き、会話を楽しみ一緒に餅をつく事が出来、ゆっくりした時間を過ごせたと思います。

久々に中庭で餅つきを行い、利用者の方も笑顔でとても楽しんでおられました。またご参加頂いたご家族の皆様、ありがとうございます。
(支援員 尾崎カ)

★ 参拝 【1月4日 (木) 日吉神社】

毎年恒例の日吉神社へ参拝に行ってきました。新型コロナウイルスも5類に引き下げられたためか、例年より参拝客も多く、コロナ禍前の賑わいに近づいてきているようです。

利用者・職員が健康で病気に負けないようにと無病息災を祈願してきました。今年は辰年、龍神様のように力強く、活気に満ち溢れた一年でありますように。(支援係長 竹下)



生活介護班④班は
三ノ宮神社に参拝に行き
ました(^^)!

行事予定

2月

☆ サークス観覧 (菊陽町)

期 日：2月1日 (木)

内 容：観覧を希望された利用者さんを3グループに分けて、1月半ばから観覧に出掛けています。最後のグループの外出です。



☆ 味千ラーメン訪問 (つくしの里)

期 日：2月15日 (木)

内 容：イベント委員会の企画です。利用者さんも楽しみにされています♪



☆ ジョギングフェスティバル (大津町)

期 日：2月25日 (日)

内 容：参加を希望された利用者さん5名と職員3名で走ります。応援をお願いします！



ありがとうございました

今月の掲載分は、

令和五年十二月二十一日～

令和六年一月二十日です

【寄付・寄贈】

- ・石塚正司 様
- ・清田すま子 様
- ・下村一恵 様
- ・谷崎信夫 様
- ・古川信子 様
- ・松本弘法 様
- ・山本清隆 様
- ・日清医療食品株式会社 様
- ・ボランティア
- ・村里和洋 様
- ・岩根麻由美 様
- ・下田吾一 様
- ・高宗信雄 様
- ・藤田孝志 様
- ・藤本美紀 様
- ・三上貴宏 様
- ・すまいる 様
- ・木本ふじ子 様

誠にありがとうございました。
利用者さんの為に使用させて頂きます。

※お詫びとおことわり

里だより担当では、毎月十分注意して、記事の記載、確認をしておりますが、誤字脱字等がございましたら何卒ご容赦していただきたく存じます。

編集後記

年明け早々、能登半島地震、飛行機事故と立て続けにニュースが飛び込んで、どんな一年になるのだろうかと心配になりました。特に、地震の映像を見ると熊本地震の時の記憶が呼び起こされ、繰り返し余震の恐怖や「明日を無事に迎えられる様に」と寝る前に祈っていたことを思い出しました。一日でも早く状況が落ち着くことを願うばかりです。施設協会を通じて職員の派遣や義援金の依頼が来ているので、できることをしたいと思います。



表紙に入れきれなかった写真を大公開♡

